



イニシエータ **API** メソッド

Element Software

NetApp
January 15, 2024

目次

イニシエータ API メソッド	1
詳細については、こちらをご覧ください	1
イニシエータを作成する	1
イニシエータを削除する	5
ListInitiators の 1 つです	7
ModifyInitiators の実行に使用し	8

イニシエータ API メソッド

イニシエータメソッドを使用すると、ストレージシステムと外部ストレージクライアントの間の通信を処理する iSCSI イニシエータオブジェクトを追加、削除、表示、および変更できます。

- [イニシエータを作成する](#)
- [イニシエータを削除する](#)
- [ListInitiators の 1 つです](#)
- [ModifyInitiators の実行に使用し](#)

詳細については、こちらをご覧ください

- ["SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"](#)
- ["以前のバージョンの NetApp SolidFire 製品および Element 製品に関するドキュメント"](#)

イニシエータを作成する

CreateInitiators を使用すると、複数の新しいイニシエータ IQN または World Wide Port Name (WWPN) を作成し、オプションでエイリアスと属性を割り当てることができます。CreateInitiators を使用して新しいイニシエータを作成すると、ボリュームアクセスグループに追加することもできます。

パラメータで指定されたイニシエータのいずれかの作成に失敗した場合、メソッドからエラーが返され、イニシエータは作成されません（一部だけを完了することはできません）。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
イニシエータ	<p>新しい各イニシエータの特性を含むオブジェクトのリスト。 オブジェクト：</p> <ul style="list-style-type: none"> • alias : (任意) このイニシエータに割り当てるフレンドリ名。文字列 • attributes : (任意) このイニシエータに割り当てる一連のJSON 属性。(JSON オブジェクト)。 • chapUsername : (オプション) このイニシエータの一意のCHAP ユーザ名作成時に指定せず、requireChap が true の場合、イニシエータ名 (IQN) が使用されます文字列 • initiatorSecret : (オプション) イニシエータの認証に使用するCHAP シークレット作成時に指定せず、requireChap が true の場合、ランダムに生成されたシークレットが使用されます文字列 • name : (必須) 作成するイニシエータ (IQN または WWPN) の名前。文字列 • requireChap: (オプション) このイニシエータのセッションロゲイン時にCHAP が必要な 	JSON オブジェクトの配列	なし	はい。

戻り値

このメソッドの戻り値は、場合により、`True` または `False` のいずれかです。

名前	説明	を入力します
イニシエータ	作成された新しいイニシエータの詳細を示すオブジェクトのリスト。	イニシエータ 配列

エラー

このメソッドでは、次のエラーが返されることがあります。

- 「`requireChap`」: (任意) このイニシエータに関連付けられた新しいイニシエータを追加するボリュームアクセスグループを指定するときに、`requireChap` が `True` の場合に発生します。

名前	説明
<code>xInitiatorExists</code> の一例です	選択したイニシエータ名がすでに存在する場合に返されます。

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "id": 3291,
  "method": "CreateInitiators",
  "params": {
    "initiators": [
      {
        "name": "iqn.1993-08.org.debian:01:288170452",
        "alias": "example1"
      },
      {
        "name": "iqn.1993-08.org.debian:01:297817012",
        "alias": "example2"
      }
    ]
  }
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 3291,
  "result": {
    "initiators": [
      {
        "alias": "example1",
        "attributes": {},
        "initiatorID": 145,
        "initiatorName": "iqn.1993-08.org.debian:01:288170452",
        "volumeAccessGroups": []
      },
      {
        "alias": "example2",
        "attributes": {},
        "initiatorID": 146,
        "initiatorName": "iqn.1993-08.org.debian:01:297817012",
        "volumeAccessGroups": []
      }
    ]
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

詳細については、こちらをご覧ください

[ListInitiators の 1 つです](#)

イニシエータを削除する

「ネットワークイニシエータ」を使用すると、1 つ以上のイニシエータをシステム（および関連付けられたボリュームまたはボリュームアクセスグループ）から削除できます。

パラメータで指定されたイニシエータのいずれかの削除に「DEleInitiators」が失敗した場合、エラーが返され、どのイニシエータも削除されません（一部だけ完了することはできません）。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
イニシエータ	削除するイニシエータの ID の配列。	整数の配列	なし	はい。

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

エラー

このメソッドでは、次のエラーが返されることがあります。

名前	説明
xInitiatorDoesNotExist の 2 つの例外があります	選択したイニシエータ名が存在しない場合に返されます。

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "id": 5101,
  "method": "DeleteInitiators",
  "params": {
    "initiators": [
      145,
      147
    ]
  }
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 5101,
  "result": {}
}
```


ListInitiators の 1 つです

ListInitiators メソッドを使用すると、イニシエータの IQN または World Wide Port Name (WWPN) のリストを取得できます。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
イニシエータ	取得するイニシエータ ID のリスト。このパラメータまたは startInitiatorID パラメータのどちらか一方を指定できますが、両方を指定することはできません。	整数の配列	なし	いいえ
startInitiatorID	表示する最初のイニシエータ ID。このパラメータまたはイニシエータパラメータを指定できますが、両方を指定することはできません。	整数	0	いいえ
制限 (Limit)	返されるイニシエータオブジェクトの最大数。	整数	無制限	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
イニシエータ	イニシエータ情報のリスト。	イニシエータ 配列

例外

このメソッドでは、次の例外が発生する可能性があります。

名前	説明
xInvalidParameter	同一のメソッド呼び出しに startInitiatorID と initiators パラメータの両方を含めるとスローされます。

要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "ListInitiators",
  "params": {},
  "id" : 1
}
```

応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "initiators": [
      {
        "alias": "",
        "attributes": {},
        "initiatorID": 2,
        "initiatorName": "iqn.1993-08.org.debian:01:c84ffd71216",
        "volumeAccessGroups": [
          1
        ]
      }
    ]
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

ModifyInitiators の実行に使用し

「modifyInitiators」メソッドを使用すると、1つ以上の既存のイニシエータの属性を変

更できます。

既存のイニシエータの名前は変更できません。イニシエータの名前を変更する必要がある場合は、まずで該当のイニシエータを削除します [イニシエータを削除する](#) メソッドを使用して新しいメソッドを作成します [イニシエータを作成する](#) メソッド

パラメータで指定されたイニシエータのいずれかの変更に ModifyInitiators が失敗した場合、メソッドからエラーが返され、どのイニシエータも変更されません（一部だけを完了することはできません）。

パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
----	----	--------	--------	----

<p>イニシエータ</p>	<p>変更する各イニシエータの特性を含むオブジェクトのリスト。オブジェクトは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • alias : (任意) イニシエータに割り当てる新しいフレンドリ名。文字列 • attributes : (任意) イニシエータに割り当てる新しい JSON 属性のセット。(JSON オブジェクト)。 • chapUsername : (オプション) このイニシエータの新しい一意の CHAP ユーザ名文字列 • forceDuringUpgrade : アップグレード中にイニシエータを変更します。 • initiatorID : (必須) 変更するイニシエータの ID 整数 • initiatorSecret : (オプション) イニシエータの認証に使用する新しい CHAP シークレット文字列 • requireChaff : (オプション) このイニシエータに CHAP が必要な場合は 'True' 布尔値 • targetSecret : (オプション) ターゲットの認証に使用する新しい CHAP シー 	<p>JSON オブジェクトの配列</p>	<p>なし</p>	<p>はい。</p>
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------	-----------	------------

戻り値 クレット（相互 CHAP 認証を使用する場合）は文字列

名前	説明	を入力します
イニシエータ	変更されたイニシエータの詳細を示すオブジェクトのリスト。	イニシエータ 配列

要求例 このメソッドの要求例を次に示す。仮想ネットワーク ID のリスト。仮想ネットワークの場合、このイ

```
{
  "id": 6683,
  "method": "ModifyInitiators",
  "params": {
    "initiators": [
      {
        "initiatorID": 2,
        "alias": "alias1",
        "volumeAccessGroupID": null
      },
      {
        "initiatorID": 3,
        "alias": "alias2",
        "volumeAccessGroupID": 1
      }
    ]
  }
}
```

応答例 このメソッドの応答例を次に示す。このキーが存在するものの NULL の場合、イニシエータは現在のボリュームアクセスグループから削除されますが、新しいボリュームアクセスグループには配置されません。整数

```
{
  "id": 6683,
  "result": {
    "initiators": [
      {
        "alias": "alias1",
        "attributes": {},
        "initiatorID": 2,
        "initiatorName": "iqn.1993-08.org.debian:01:395543635",
        "volumeAccessGroups": []
      },
      {
        "alias": "alias2",
        "attributes": {},
        "initiatorID": 3,
        "initiatorName": "iqn.1993-08.org.debian:01:935573135",
        "volumeAccessGroups": [
          1
        ]
      }
    ]
  }
}
```

新規導入バージョン

9.6

詳細については、こちらをご覧ください

- [イニシエータを作成する](#)
- [イニシエータを削除する](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。